

VU (絶滅危惧Ⅱ類)

コウチュウ目 ゲンゴロウ科

カテゴリー判定基準：A-2; B-2, 3

エゾゲンゴロウモドキ

Dytiscus marginalis czerskii Zaitzev, 1953

旧レッドリストカテゴリー		
1991	2000	2007
R	NT	VU

北海道および本州中北部に分布するゲンゴロウ科の大型種。平地から丘陵地、山地の森林をともなった水域に生息するが、平地では開発および侵略的外来生物による地域的絶滅が進んでいる。

This is a large diving beetle distributed in Hokkaido and central and northern Honshu. It inhabits waters surrounded by forests in lowland to hilly areas, but in lowlands it is extinct locally by development and invasive animals.

基礎情報

■**形態** 体長31～36mm。黒褐色で、周縁部は黄色。メスは通常、上翅前方に各10条の縦溝を持つ。近縁種シャープゲンゴロウモドキ・ゲンゴロウモドキとは、腹面の色彩および斑紋で区別できる。

■**分布域** 北海道の南部から東部および、長野県（未発表）・新潟県・栃木県・福島県以北の本州各県。とくに本州では局地的。国外ではシベリアからヨーロッパ。

■**生息環境** 丘陵地から山地の、森林をともなったため池や湿原、流れのよどみ。青森県以北では平地にも生息。

■**生活史** 成虫越冬で春季に産卵、夏～秋にかけて新成虫が羽化する。

現在の生息状況

■**分布域の現況** 分布域に大きな変動はないが、生息地単位での絶滅は進行している。

■**生息地の現況** とくに平地・丘陵地において、環境変化および侵略的外来生物の影響が大きい。大規模な生息地だった青森県津軽半島中部では、2000年代後半にウシガエルの拡散が見られ、同時期に本種は絶滅に近い状態になった。

存続を脅かす要因

開発によるため池の改変（15-1）および、アメリカザリガニ・ウシガエル・オオクチバスなど侵略的外来生物の侵入による捕食（56-1）。後者は広範囲で地域的な絶滅をもたらすため、より影響が大きい。

保護対策の現状

山形県で道路工事にともなうため池の改変に際して、埋め立てを最小限にするよう配慮された例があったが、同地では絶滅した。他には、本種のための保全対策はとられていない。

特記事項

山形県では、上翅に条溝のないメスが知られている。

参考文献

森正人・北山昭, 2002. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 文一総合出版, 東京. 231pp.

執筆者：永幡嘉之（写真家）